

鶴 翔

あす
未来のために、
いま
現在を変える。

KAKU SHO



稼げる国「日本」にしよう

自由民主党 観光立国調査会長
参議院議員 鶴保庸介

1998年7月の参議院議員選挙にて、当時の選挙区史上最年少31歳で当選以来、早いもので国会議員として27年目を迎えました。その間、内閣府特命担当大臣、国土交通副大臣、自民党観光立国調査会長など、その職責を果たしてまいりました。これもひとえに皆様方から頂きました力強いご支援のおかげであり、改めて感謝申し上げます。



昨今の政治を取り巻く環境を考えれば、自民党は大きく変わらなければなりません。世代交代が叫ばれ、政党としての自民党の役割が見直されているなか、私たちに問われているのは、「これから何をなすべきなのか」ということでしょう。

政党に対する期待感のあらわれである支持率が非常に低いのは、未来へのビジョンや希望があまりにも少なすぎて、国民が期待感を持っていないからではないでしょうか。私は、日本の「稼ぐ力」の復活を提言したいと思います。

初当選の頃の日本はバブルにしがみつきの、多くの国民が「日本はまだだまだけるはずだ、かならず復活するはずだ」と思っていました。しかし、現在では好景気を知らない世代が中心となり、「今日よりも明日はよくなる」と感じている人がほとんどいないことに気づきました。「そんなことをしても無駄ではないか」「どうしてそれほどがんばるのですか?」といった発問の若者が増えています。これは若い人たちの責任ではなく、「今日よりも明日はよくなる」と信じて頑張ってきた最後の世代である私たちの責任であると感じています。そして、その責任が問われていることを受けて、現在私が考えているスローガンが「日本を稼げる国にしよう」というものです。

私たちが結果を出さなければ、この国は倒れるかもしれないという危機感を常に持っています。日本はGDPでドイツに抜かれ、一人当たりのGDPでもお隣の韓国に抜かれ、少子高齢化という難題のもと、財政需要は伸びる一方です。現在国内では、自治体が医療費削減だ、教育費削減だと“サービス合戦”を競い合い、国民や企業は自分たちの利益を獲得するためのパイの取り合いに終始しています。

アベノミクスの3本の矢は、果敢な財政出動、金融緩和、そして成長戦略の3つでしたが、実は成長戦略についてはご本人も認めていた通り、あまりにも少なかったと言わざるを得なかったと思います。現代の日本に必要なのは、パイ全体を大きくすることではないでしょうか?

アベノミクスの話が出るはるか前から、経済成長を実現するために、私は観光などに取り組みました。結果として観光は一つの産業の柱になってくれました。経済政策においては、新たな補助金をつくって成長分野へ果敢な財政投資をしていくこと、弾力的な財政支出をしていくことなどが強調されますが、観光においては一切お金を使わず、減税を行い、ビザの発給要件の緩和のような規制緩和を行ったに過ぎません。しかし、インバウンドによって数兆円ものお金が入ってくるようになりました。周辺の経済効果を含めれば、数十兆円にものぼるでしょう。これは消費税数パーセント分にも相当します。

このことが象徴するように、日本人が大きな転換点に差し掛かっている現在、私たちはトライアンドエラーをし続けることが求められているのです。規制緩和などによって、お金を使わなくても稼げるようにはなりません。ただし、これまで守ってきた価値観や慣習といったものを突き崩すことになりかねないリスクを伴います。

私たちには、この「気持ちのリスク」を打ち破るべき時がきているのではないのでしょうか? 「稼げる国」という考え方を前面に立て、さまざまなリスクテイキングをしていかなければなりません。すでにそのような時代がきており、稼げる国へシフトしていくのは待たなしである、ということです。

鶴保庸介(つるほようすけ) 参議院議員(和歌山県選出、自由民主党、当選回数5回)

昭和42年(1967)2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒

○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官(2期)、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣、平成26年参議院自民党政審会長、平成28年内閣府特命担当大臣 ○参議院国際経済・外交に関する調査会長、自由民主党政務調査会観光立国調査会会長、同調査会・観光業に係る法制度の在り方に関するWT座長、捕鯨対策特別委員会委員長、訪日外国人観光客コロナPT座長、ドローン議連幹事長、道の駅議連幹事長、棚田議連会長、鳥獣被害対策議連会長代行など多数の議連

プロフィール

農泊議連のメンバーと秋田県を訪れました

9月30日、農泊議員連盟の会長として秋田県田沢湖畔を訪問しました。その後、湯沢市秋ノ宮にも視察に行っていました。農泊の施設は質素ですが、1泊2食で1万円前後という手頃な料金で宿泊できるうえ、農業体験や地元の方たちとのコミュニケーションなど、魅力的な体験ができます。



田沢湖畔▶

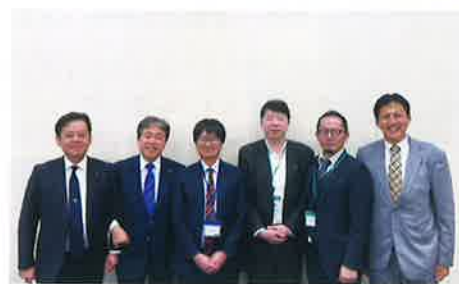


田沢湖畔



秋ノ宮

ワーケーション推進議連会合



2月28日、ワーケーション推進議連第5回会合に、会長として出席いたしました。

デジタルノマドビザや二地域居住など、近未来の働き方について活発な意見の交換が行われました。

議連活動

二地域居住議連勉強会

私が会長を務める二地域居住推進議連に、多数の議員や関係者をお迎えして、5月28日に勉強会を開催いたしました。

「交通を軸とする関係人口の創出」をテーマに、活発な意見交換が行われ有意義な時間となりました。

いただいたアイデアを実現するためにがんばってまいります。



世界遺産サミットで発起人代表挨拶

9月27日、東京ビッグサイトでの「第11回世界遺産サミット」で、発起人代表として挨拶。和歌山からもたくさんの方に参加いただきました。

「世界遺産サミット」は、私が国土交通省の観光担当副大臣だったころに、観光地としての悩みを共有する目的でスタートしたもので、世界遺産が所在する自治体の首長等が一堂に会し、世界遺産の保全や観光面における活用について報告・意見交換し、地域間の連携を深めるとともに、世界遺産の魅力を広く発信するものです。

平成26年に第1回を京都市で、翌年には和歌山県で、以降も毎年、各地域で開催してきましたが、11回目となる今回は、観光業界をはじめとするさまざまな業界関係者が集まる総合観光イベント「ツーリズムEXPO ジャパン」での開催となりました。

観光政策の司令塔でもある党観光立国調査会長として引き続き、わが国の基幹産業である「観光」で、しっかりと結果を出してまいります。



棚田振興議員連盟

6月4日、私が会長を務める棚田振興議連の会合が開催されました。

那智勝浦町長の堀順一郎全国棚田連絡協議会町をお招きし、棚田をめぐる現状と現場からの生の声を伺いました。

議連では、棚田法について今後も議論を進め、令和7年3月末期限の棚田法の円滑な延長・改正を図っていきたくてお思います。



長崎・出島のドローンサミットに出席



ドローン議連を代表して9月8日、長崎県で開催された出島産業メッセ第2回ドローンサミットに出席いたしました。

屋内展示ブースのほか、屋外での自動フライトによる配送システムのデモや、九州・沖縄の自治体担当者によるトークセッションも行われ、ドローンを活用した様々な取り組みが紹介されて大変参考になりました。

このようなイベントが積極的に行われ、地域の活性化や新たな産業創出から日本の成長につながることを願い、私も微力ながら引き続き応援させていただきます。



ゆるみ止めナットの決定版
U-NUT
Fuji Seimitsu Co., Ltd.

KONOIKE 2030 VISION
技術で、人が、高みを目指す

先端テクノロジーを使いこなす次世代のKONOIKEスピリットで、お客さまと社会の課題解決を図る「現場のあり方」を進化させていきます。

鴻池運輸株式会社
Konoike Transport Co., Ltd.

KONOIKE GROUP

大阪本社 ▶ 〒541-0044 大阪市中央区伏見町 4-3-9 TEL 06-4227-4400 (代表) 代表取締役社長 長瀬川 信司 鴻池 忠彦
東京本社 ▶ 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-10-1 TEL 03-3575-5751 (代表) グループ担当人数: 183 / 海外拠点数: 37

京奈和自動車道建設促進協議会

10月5日、京奈和自動車道建設促進協議会が開催されました。早期の4車線化実現と延伸への取り組みに努力を続けていきたいとの想いを新たにいたしました。

本来の構想「第二国道軸構想」では、京奈和を延伸して紀淡海峡大橋から四国に抜ける予定でした。この夢の実現に向けて、私も与党の議員として予算の確保に全力で取り組みますので共にがんばっていきましょう。



R6 年度国の施策・予算への和歌山県の要望

5月31日、「令和6年度国の施策及び予算に関する和歌山県の重点要望」に関わる説明会が行われ、出席の和歌山県選出の国会議員ならびに岸本知事、県庁幹部職員による意見交換が行われました。和歌山を良くするための様々な課題についてご説明いただき、それらの解決に取り組むことこそが和歌山の皆さまのお役に立てることだと身の引き締まる思いでした。



国交省 和歌山県人会

6月6日、二地域居住推進議連出席の後、国土交通省の和歌山県人会に出席して参りました。

顔なじみの方々が大勢参加されていて、和歌山の未来を語ったり、昔話に花が咲いたり、改めて地元の良さをかみしめる有意義な時間でした。



地元連携

太地町捕鯨妨害事件について

古式捕鯨発祥の地である和歌山県太地町の捕鯨を、反捕鯨団体がドローンを用いて漁鯨妨害した事件について、警察・国交省・法務省・水産庁など関係省庁と太地町の漁師の方々との協議の結果、詳細は割愛しますが解決の方向に向かっていきます。

今後、全国で同様の問題を防ぐために、太地町の対策を参考にさせていただきたく思います。



捕鯨関連

捕鯨の伝統と食文化を守る会

議員会館近くの星陵会館レストランにて6月5日「第33回捕鯨の伝統と食文化を守る会」が開催されました。

鯨を愛する多くの議員・関係者の出席の中、私が自民党代表として先陣を切ってご挨拶させていただきました。その後バラエティ豊かな鯨料理を味わうことができ、捕鯨文化の大切さを改めて感じました。



新捕鯨母船「関鯨丸」説明会

共同船舶株式会社様が運営する、内幸町にある鯨料理のイタリアンレストラン [LA BALENA NEL PARCO (ラ・バレーナ・ネル・パルコ)] で行われた、同社の新捕鯨母船「関鯨丸(かんげいまる)」説明会にご招待いただき、鯨の絶品イタリアンとワインに感動いたしました。

共同船舶様は様々な手段で鯨肉の普及に取り組んでおられます。和歌山県選出の議員としても、捕鯨に対する理解と支持を広げるために今後も努力して参ります。



LA BALENA NEL PARCO 店内



共同船舶の所英樹社長と

100年の安心に、こたえる
KIRII

株式会社 桐井製作所

〒100-6605 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー5F
TEL: 03-4345-6000 (代) FAX: 03-6895-0200 <https://www.kirii.co.jp/>



米国シェアNo.1
シーリーベッド



(株)スリープセレクトは、日本国内において米国シェアNo.1マットレスブランドSealy(シーリー)を製造から販売まで一貫して行っております。

SLEEP SELECT®
(株)スリープセレクト

東京都港区北青山2丁目13番5号 青山サンクレストビル 2F
TEL: 03-5413-6600(大代表) www.sleepselect.co.jp
代表取締役社長 西村 秀之
製造工場: 〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町佐脇原415

各所訪問

セビリア (スペイン) ジャパンウィーク

2023年11月30日、スペイン南部の都市、フラメンコの本場セビリアで開催された、ジャパンウィークに実行委員長として訪問しました。

定番のアニメ、マンガ、SAKE等々の紹介に加えて、サムライパフォーマンスや沖縄フラメンコなど、躍動する日本文化も披露されセビリアの人々に感銘を与えたことと思います。



訪問

Ledge.ai で対談

AI テクノロジーメディアのLedge.ai で、元吉本興業会長の 大崎洋様との対談を収録いたしました。

大阪・関西万博に懸ける想いや様々な可能性を語り合った番組は昨年12月に配信済みですが、Ledge.ai のサイトでテキスト化されていますので、ぜひお読みください。



対談

貴志川線祭り

11月5日、伊太祈曽駅・伊太祁曽神社で開催されている第17回貴志川線祭りに出席しました。いつもは貴志駅勤務のニタマ駅長にもご挨拶でき、幸運をいただきました。



日・ウクライナ技術供与品展示会

JICA主催の「Connecting with Ukraine ～日ウクライナパートナーシップの強化と共創～」の技術供与品展示会に行ってきました。カウンタードローン技術（不審ドローンに対処する技術）やオフグリッドプレハブ（太陽光等による自家発電技術）、雨水浄水技術などの多彩なイノベーション大きな可能性を感じました。



砕石所見学

和歌山県内の砕石会社の案内にて砕石現場を見学させていただきました。ここで出る流紋岩や流紋岩質溶結凝灰岩は国内でも有数の硬さを誇り、この硬くて緻密な砕石を使用することで、超硬強度のコンクリートの製造を可能にし、高層ビル等の建築工事に使用されています。

道路アスファルトの骨材に活用できないか、との提案を受けたところです。ぜひやりましょう。



本会議登壇

6月21日、17年ぶりに本会議で登壇し、質疑を行いました。

令和5年度の政策評価実施状況等報告に関して、以下の点について質問を行いました。

1. 参議院の行政監視と政策評価
2. 放送アーカイブの重要性
3. 自然災害復旧の広域協定
4. 空き家問題と市街地の再生
5. 高齢公務員の人材活用

特に空き家対策については、空き家情報の公開にあたり、これからは納税者情報を公開の方向で検討する趣旨の答弁でした。今までゼロ回答だったことを思えば、だいぶ雰囲気が変わってきたと思います。



参議院議員
鶴保 庸介
公式Facebook



Instagram
はじめました!

● 写真による活動報告も行っています

ホームページもぜひご覧ください。

<http://www.tsuruho.com/>



● 鶴翔ニュース登録はこちら

メール本文にお名前等の必要事項をご記入ください。

wakayama@tsuruho.com



つるほようすけ

鶴保庸介 事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館313号
TEL.03 (6550) 0313 FAX.03 (6551) 0313
E-mail: info@tsuruho.com

《鶴保庸介和歌山事務所》

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田107-1-503 TEL.073-472-3311 / FAX.073-472-3334 E-mail: info@tsuruho.com